

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・大分県ドローン協議会を通じた普及啓発・人材育成・技術開発支援を行うとともに、ドローン産業振興に向けた機運醸成を目的としたOITADドローンフェスタ2018を開催した。 ・地域課題を解決するため、過疎山間地における買い物弱者支援をテーマとしたドローンによる荷物配送の実証実験を実施し、全国3例目となる「補助者なし目視外飛行」に成功した。
②	・自動車関連産業では、自動車メーカー等と設備や部品等で継続取引のある企業が増加するなか、更に新分野・成長分野での新規受注を支援した。 ・半導体関連産業では、新分野への事業展開を目的とした研究開発への補助、台湾・中国の販路開拓等を行い、競争力の強化を図った。 ・ICT活用工事の施工に繋がる機器の導入経費を補助することで、県内の建設業における生産性向上を推進した。
③	・食品産業の商品開発や人材育成の目的で「食品オープンラボ」を運営し、製造技術の向上が図られた。また、HACCP実践WSを開催することで、大手小売との取引に向けて、プラン策定を支援した。
④	・大分県医療ロボット・機器産業協議会では、医療機器のほか介護・福祉機器等も含む裾野の広い医療関連機器産業への参入支援を行い、会員数は147社・28支援機関と着実に増加している。
⑤	・大分県エネルギー産業企業会の活動を通じ、県内企業の水素関連産業の事業化支援や、地域と産業を有機的に結びつけ、エネルギーの効率的な活用を図るスマートコミュニティの形成支援を行った。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(30年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載
			総合評価	元年度の方向性	
①②	ドローン産業振興事業	61,897	A	継続・見直し	131
②	自動車関連産業企業力向上事業	64,198	A	継続・見直し	132
	おおいたLSIクラスター構想推進事業	34,187	A	継続・見直し	133
	戦略産業成長分野参入支援事業	47,432	A	終了	134
	建設産業構造改善・人材育成支援事業	44,465	A	継続・見直し	242
③	食品産業競争力強化事業	32,397	A	継続・見直し	135
④	医療機器産業参入加速化事業	47,055	A	継続・見直し	136
	東九州メディカルバレー構想拠点機能強化事業	17,322	A	継続・見直し	137
⑤	エネルギー関連産業成長促進事業	51,431	A	継続・見直し	138

【VI. 施策に対する意見・提言】

OOITADドローンフェスタ2018第4回実行委員会(H31.3)
・産業振興という面でいえば、裾野を広げていくことが大事であり、そのためには継続して取り組むこと。また、オール九州で実施するというのも手法の一つではないか。

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の市場の拡大が見込まれるドローンのソフト・サービス分野への支援を強化するため、ドローン協議会を通じた企業支援を行うとともに、地域課題解決に向けた社会実装に取り組むことにより、更なるドローン産業の振興を図る。 ・自動車関連産業については、地場企業のQCD向上を引き続き支援するとともに、今後ニーズの高まる電子電装分野など新分野・成長分野での新規受注支援や参入に向けた環境づくりに取り組む。 ・半導体関連産業については、引き続き地場企業の新分野進出やトップシェア獲得に向けたチャレンジを支援するとともに、中国等ターゲット地域への各種情報発信強化を行い、国内外とのネットワーク構築を強化する。 ・食品産業については、マーケットインのものづくり支援やHACCPに基づく衛生管理の導入促進など、おおいた食品産業企業会を通じて、県内食品産業の成長水準の底上げを支援していく(取引先の拡大、衛生管理レベルの向上)。 ・看護関連機器開発部会や介護・福祉関連機器開発部会等を活用し、医療・福祉現場に貢献する機器開発を産学官が連携して支援することで、東九州メディカルバレー構想のもと進める医療関連機器産業の更なる集積を図る。 ・地熱・温泉熱や小水力等本県の強みを活かしたエコエネルギーの導入を促進するほか、水素関連産業の事業化支援や、地域と産業を有機的に結びつけ、エネルギーの効率的な活用を図るスマートコミュニティの形成を支援していく。 ・県内におけるICT活用工事の普及をより一層促進し、建設産業の生産性向上を図る。